

お米の異品種混入(コンタミ)防止 チェックリスト

3月

種子確保

- ①品種固有の純度を保持するため、飯米用を含め**100%種子更新**すること。
- ②もち米生産組合の生産者は、飯米と言えども「うるち米」の生産を行わないこと。

種子予措

- ③使用する種子の**ロットナンバー**を控える。
- ④種子消毒、浸種作業に使用するネット袋には、**品種名を明示し、取り違いに注意**すること。
- ⑤芽出し作業時には、品種切り替え毎に催芽機の清掃を行うこと。

4月

播種作業

- ⑥播種機は、作業前及び**品種切り替え毎に清掃**を行ない、残粒した籾を除去すること。

育苗管理

- ⑦育苗ハウスは1品種1棟を基本とするが、複数品種が入る場合は立札やテープ等で明確に区分すること。
- ⑧苗の取り違い防止と健苗を育成するために、**品種名と播種月日**を表示すること。

5月

移植作業

- ⑨苗取り・苗運搬者には、移植品種を明確に示し、取り違いに十分注意すること。
- ⑩1圃場1品種の作付を厳守し、**品種の混交や自然交雑を防止**すること。
- ⑪**品種の切り替え時には、移植機を清掃し、**付着した苗の除去を行なうこと。
- ⑫**さし苗(補植)作業は、原則行わない。やむを得ず行う場合、品種の取り違えがないよう**注意すること。

6月 7月

圃場管理

- ⑬低アミロース米、もち米、酒造好適米などは、団地化(隔離生産)又は防風ネットを設置すること。
- ⑭前年度と異なる品種を作付する圃場では、「**野良生え**」に留意し、**除草作業を入念に行なう**こと。
- ⑮出穂期及び穂かがみ期に、農業改良普及センターの指導を受け、異型株の除去作業(株抜き)を実施すること。特にもち米は必ず実施する。

8月

収穫作業開始前の準備

- ⑯圃場に空きビン・空き缶等が捨てられていないかを点検し、ガラス・金属片等の混入防止を図る。
- ⑰コンバイン・乾燥機・籾摺機・粒選別機(ライスグレーダー)等の保守点検と、整備を必ず行い、電気掃除機や、エアガンも併用し、丁寧に清掃する。

9月

収穫作業

- ⑱**品種切り替え時**のコンバインは、穀粒が残留しやすい各搬送部の底面及びコーナー部の**清掃を徹底**すること。
(又は、品種別専用コンバインを設置し、共同利用すること)
- ⑲収穫作業を委託する場合は、圃場別に立札等を設置し、品種名を明記すること。
- ⑳生籾の搬送器材(軽トラック含む)は、1回ごとに清掃し、残留籾を無くすること。

乾燥調製作業

- ㉑**乾燥時には、乾燥機に品種名を表示**し、品種の取り違えを無くすること。
- ㉒乾燥前と品種切替え時には、掃除機及びエアガン等で丁寧に清掃すること。
(又は、品種別専用乾燥機を設置し、共同利用すること)
- ㉓乾燥機の周辺は、常に清潔に保ち、こぼれ落ちた籾粒は投入しないこと。
- ㉔一次貯留・仕上乾燥後の保管容器(籾蔵を含む)等には、品種名を表示すること。
- ㉕籾摺・粒選別機は、品種切替え毎に丁寧に清掃し、残粒を無くすること。
- ㉖紙袋で出荷する場合は、印刷された品種名を確認のうえ充填すること。

出荷作業

- ㉗農産物検査を受検する場合には、**包装容器に氏名・品種名を荷札・カード等で明記し、**取り違えを防止すること。

お米の異品種混入(コンタミ)防止の徹底を!

北海道 / ホクレン / 北集 / 北海道米麦改良協会
ホームページでもご覧になれます。 <http://www.beibasku.net/>